

令和3年度 新規採択要望箇所の概要

1. 事業概要

事業名	水利整備事業
事業箇所	庄西2期地区(砺波市太田ほか地内)
事業量	受益面積 4,146ha
事業内容	用水路工 8.9km
総事業費	33億円
予定工期	令和3年度～令和11年度

2. 事業の必要性

- 本地区の農業用排水施設は、昭和初期から昭和40年代にかけて、県営かんがい排水事業等により順次造成されてきたが、築後約50年以上(耐用年数は40年)が経過し、経年劣化による摩耗、損傷、ひび割れが著しく、水管理に支障を来している。
- このため、施設機能が大きく損なわれる前に(健全度に応じた)機能保全対策を実施し、水路の補強等により施設の長寿命化を図り、安定的な農業用水の確保を行う。

健全度	施設の状態	対策工法
S-5	変状がほとんど認められない状態	対策不要
S-4	軽微な変状が認められる状態	要観察
S-3	変状が顕著に認められ、劣化の進行を遅らせる補修工事などが適用可能な状態	補修
S-2	施設の構造的安定性に影響を及ぼす変状が認められ、補強を伴う工事により対策が可能な状態	補強
S-1	施設の構造的安定性に重大な影響を及ぼす変状が複数認められ、近い将来に施設機能が失われるリスクが高く、施設の改築が必要な状態	更新

3. 事業の適切性(事業規模、区間など)

- 本地区は、庄川合口堰堤から取水し、受益地は3市(砺波市・高岡市・小矢部市)にまたがり、約4,100haの広大な農地を潤している。
- 庄西地区全体としては、これまで優先順位を見極めながら、地区を分割して順次整備を進めてきている。今年度「庄西1期地区(H24～)」が完了を迎えることから、来年度「庄西2期地区」を立ち上げることに伴い、継続的かつ一体的な整備を進める。
- 主な事業エリアは、庄西1期地区(地域の最上流部)の繋がりの下流部を対象とし、事業間の連結による相乗的な効果の発現を図る。
- 施設の老朽化状況等を勘案し、事業量は用水路工8.9kmを予定し、現況水路に内張コンクリート(補強)を行い、施設の長寿命化を図る。

4. 事業の投資効果

- 費用便益比(B/C) 1.13
※作物生産、国産農産物安定供給等による便益

5. 推進体制

- 砺波市、高岡市、小矢部市、庄西用水土地改良区から要望があり、庄西用水土地改良区が中心となって事業を推進する。

